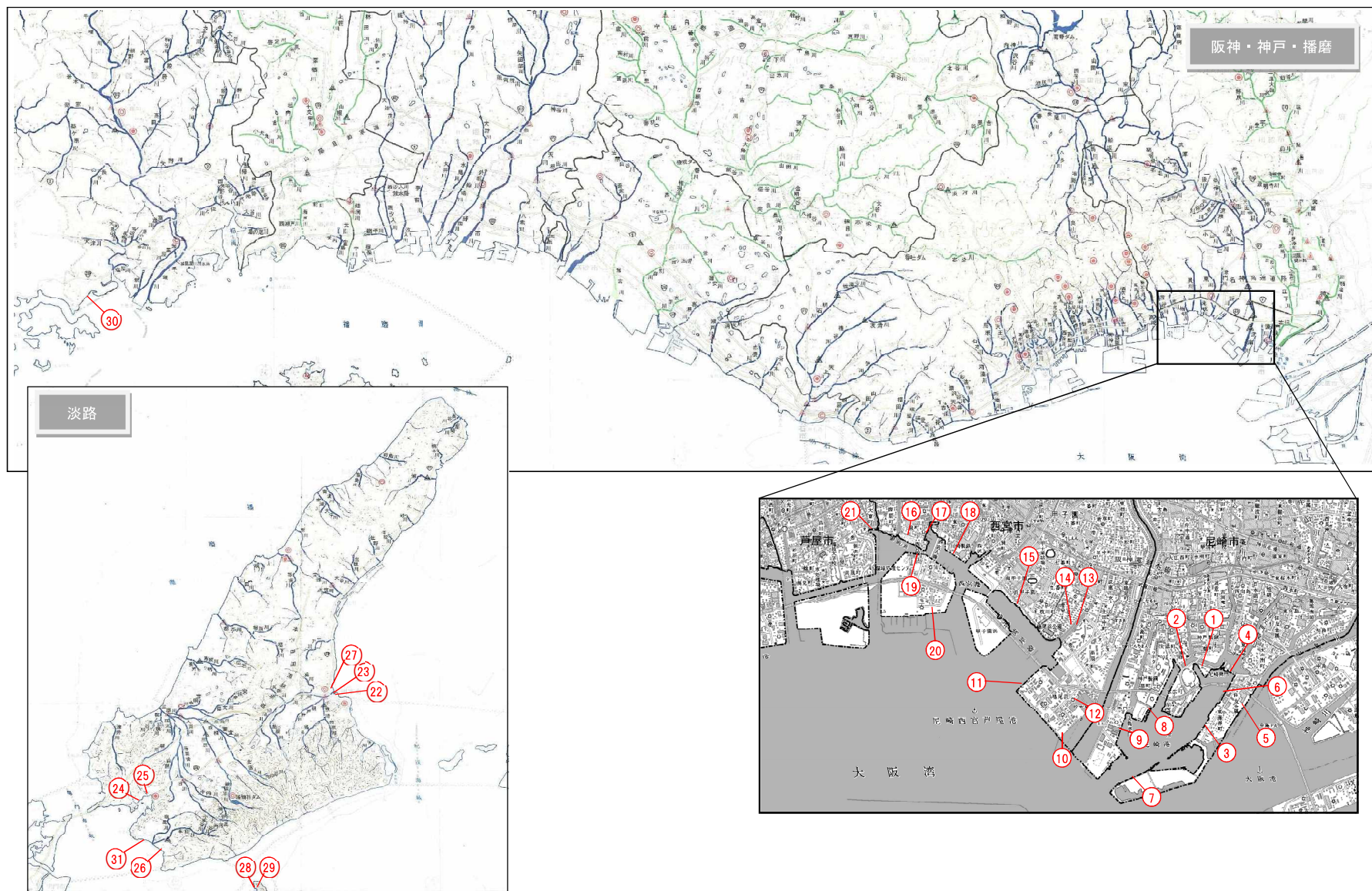


## 【別添資料】

○ 詳細検討箇所図（防潮堤）	1
○ 詳細検討結果一覧（防潮堤）	2
○ 詳細検討箇所図（河川堤防）	3
○ 詳細検討結果一覧（河川堤防）	4
○ 検討結果詳細図（港湾・海岸防潮堤）	5
○ 検討結果詳細図（漁港海岸防潮堤）	31
○ 検討結果詳細図（農地海岸防潮堤）	33
○ 検討結果詳細図（河川堤防[ALID]）	35
○ 検討結果詳細図（河川堤防[FLIP]）	57

○詳細検討箇所図（防潮堤）

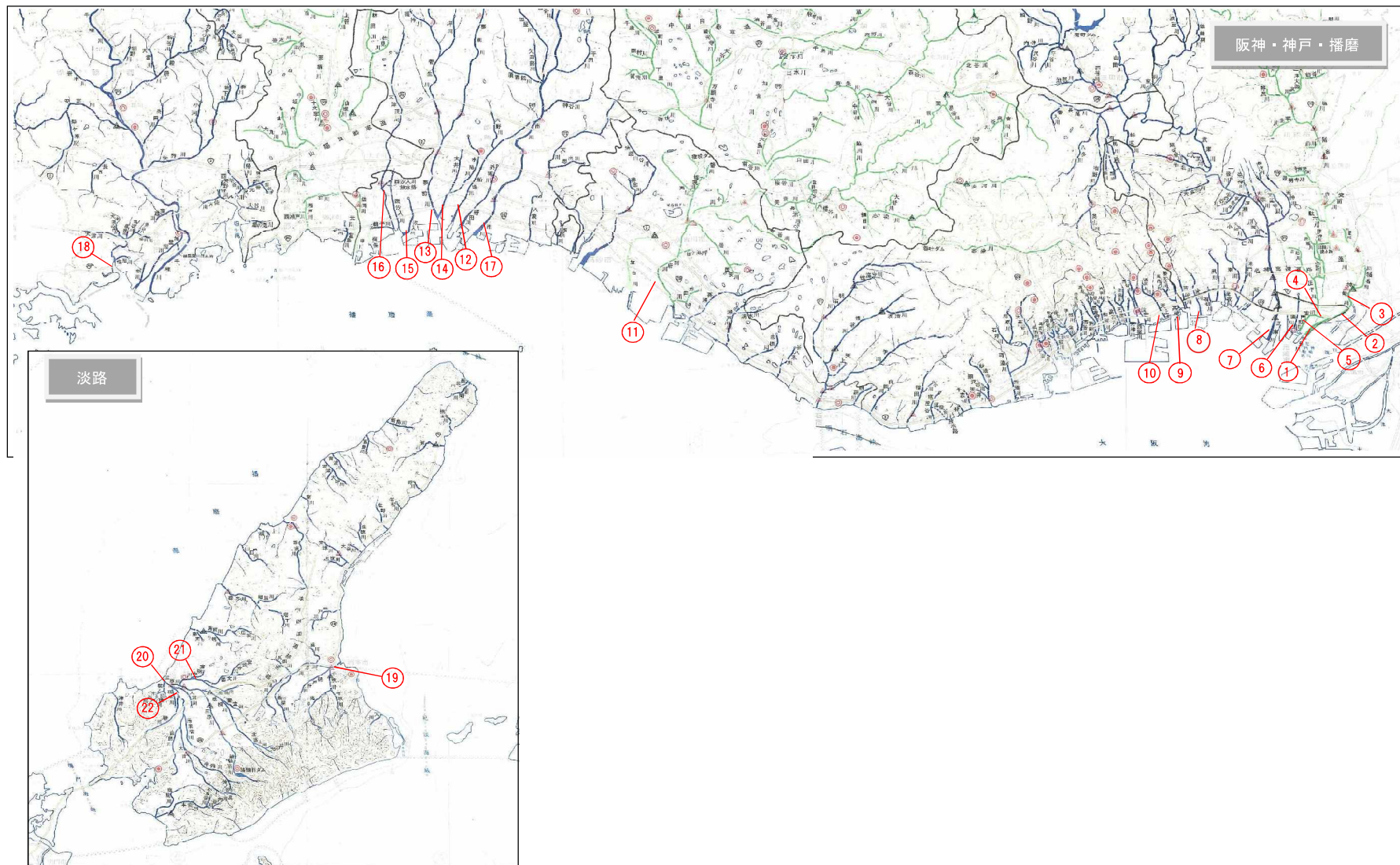


○詳細検討結果一覧(防潮堤)

施設区分	海岸名	地区名	No.	施設名	構造諸元		施設の変状(詳細解析結果による)				施設の機能(高さ)			沈下対策の要否	備考	参照頁
					構造形式	現況天端高(T.P.m) ①	沈下量			水平変位(m)	L2津波水位(T.P.m) ⑤	沈下後天端(m) ⑥=①-④	余裕高(沈下後天端-津波水位)(m) ⑦=⑥-⑤			
							④=②+③ 沈下量(m)	② 地殻沈降量(m)	③ 液状化沈下量(m)							
港湾海岸	尼崎西宮芦屋港	尼崎市東海岸町他	①	尼崎-1	傾斜式+控え矢板	4.05	0.66	0.14	0.52	-0.66	3.78	3.39	-0.39	要	地盤変状や構造特性より、津波越流時に防潮堤の機能が消失する恐れがあり、防潮堤の倒壊を招く可能性が高い。	5
			②	尼崎-2	傾斜式	5.10	0.97	0.14	0.83	-0.19	3.75	4.13	0.38	否		6
			③	尼崎-3	傾斜式	4.13	0.22	0.14	0.08	0.13	3.73	3.91	0.18	否		7
			④	尼崎-4	傾斜式	5.34	0.31	0.14	0.17	0.96	3.75	5.03	1.28	否		8
			⑤	尼崎-5	傾斜式	4.65	1.61	0.14	1.47	1.27	3.91	3.04	-0.87	要		9
			⑥	尼崎-6	控え矢板式+胸壁	4.55	0.76	0.14	0.62	0.66	3.73	3.79	0.06	要	地盤変状や構造特性より、防潮堤の機能が消失する恐れがあり、防潮堤の倒壊を招く可能性が高い。	10
		⑦	尼崎-7	重力式	5.20	0.56	0.14	0.42	2.55	3.62	4.64	1.02	否	水平変位は大きいが護岸としての機能は保持されている。また、背後の地盤が津波より約60cm高いことから、背後地に浸水が広がらない。	11	
		⑧	尼崎-8	傾斜式	4.23	0.52	0.14	0.38	0.82	3.62	3.71	0.09	否		12	
		⑨	尼崎-9	傾斜式	4.25	0.46	0.14	0.32	0.45	3.62	3.79	0.17	否		13	
		⑩	西宮-1	重力式+胸壁	4.44	0.55	0.14	0.41	0.22	3.33	3.89	0.56	否		14	
	⑪	西宮-2	重力式+胸壁(杭基礎)	5.26	0.45	0.13	0.32	1.68	3.23	4.81	1.58	要		15		
	⑫	西宮-3	傾斜式	3.79	0.57	0.14	0.43	0.22	3.33	3.22	-0.11	否		16		
	⑬	西宮-4	控え矢板式	4.83	2.21	0.13	2.08	2.94	3.32	2.62	-0.7	要		17		
	⑭	西宮-5	控え矢板式	4.72	2.48	0.13	2.35	0.92	3.32	2.24	-1.08	要		18		
	⑮	西宮-6	傾斜式	5.14	0.47	0.13	0.34	-0.17	3.31	4.67	1.36	否		19		
	⑯	西宮-7	傾斜式	5.60	0.56	0.11	0.45	-0.11	3.63	5.04	1.41	否		20		
	⑰	西宮-8	自立矢板式+胸壁	3.86	0.99	0.11	0.88	1.72	3.4	2.87	-0.53	要		21		
	⑱	西宮-9	傾斜式	4.06	1.00	0.13	0.87	1.25	3.16	3.06	-0.1	要	地盤変状や構造特性より、津波越流時に防潮堤の機能が消失する恐れがあり、防潮堤の倒壊を招く可能性が高い。	22		
	⑲	西宮-10	傾斜式	4.45	0.22	0.11	0.11	0.16	3.63	4.23	0.6	否		23		
	⑳	西宮-11	重力式+胸壁	3.82	0.58	0.11	0.47	0.12	3.19	3.24	0.05	否		24		
	㉑	芦屋-1	傾斜式	4.66	0.44	0.09	0.35	1.21	3.65	4.22	0.57	否		25		
㉒	洲本-1	控え矢板式	2.60	0.42	0.32	0.10	3.92	2.54	2.18	-0.36	要		26			
㉓	洲本-2	自立矢板式	2.81	2.25	0.32	1.93	2.56	2.65	0.56	-2.09	要		27			
㉔	福良-1	傾斜式	3.12	1.21	0.49	0.72	0.29	7.75	1.91	-5.84	否		28			
㉕	福良-2	重力式	2.97	0.93	0.50	0.43	1.45	7.91	2.04	-5.87	否		29			
㉖	阿万-1	傾斜式	5.93	0.81	0.55	0.26	0.74	5.82	5.12	-0.7	否		30			
漁港海岸	沼島漁港	南あわじ市沼島	㉗	沼島-1	重力式	4.30	0.70	0.56	0.14	0.16	4.40	3.60	-0.8	否		31
			㉘	沼島-2	重力式	4.30	0.71	0.56	0.15	0.2	4.40	3.59	-0.8	否		31
㉙	炬口-1	重力式	3.20	0.45	0.30	0.15	0.04	2.80	2.75	-0.05	否		32			
農地海岸	福浦海岸	赤穂市福浦	㉚	福浦-1	傾斜式	7.15	1.07	0.09	0.98	0.25	2.57	6.08	3.5	否		33
	吹上海岸	南あわじ市吹上	㉛	吹上-1	傾斜式	6.57	0.91	0.54	0.37	0.02	5.69	5.66	-0.03	否		34



○詳細検討箇所図（河川堤防）



# ○詳細検討結果一覧(河川堤防)

施設区分	河川名	構造諸元		施設の変状(詳細解析結果による)				施設の機能(高さ)				沈下対策の要否	参照頁		(参考)	
		構造形式	現況天端高(T.P.m)①	沈下量				L1津波水位(T.P.m)⑤	沈下後天端(T.P.m)⑥=①-④※2	目地開き位置の高さ(T.P.m)⑥※2	余裕高(沈下後天端-L1津波水位)(m)⑦=⑥-⑤		ALID	FLIP	L2津波水位(T.P.m)⑧	余裕高(沈下後天端-L2津波水位)(m)⑨=⑥-⑧
				④=②+③沈下量(m)	②地殻沈降量(m)	③液状化沈下量(m)										
				ALID解析沈下量(m)※1	FLIP解析沈下量(m)※1											
河川堤防	① 中島川	コンクリート擁壁+鋼管基礎杭	6.80	0.15	0.14	0.01	0.32	2.38	6.65	-	4.27	否	35	57	3.80	2.85
	② 左門殿川	土堤+パラペット	6.12	1.05	0.14	0.91	1.36	1.47	5.07	3.57	2.10	否	36	58	2.86	0.71
	③ 神崎川	土堤+パラペット	5.68	0.41	0.14	0.27	0.40	1.39	5.27	-	3.88	否	37	59	2.59	2.68
	④ 庄下川	控え式矢板	1.11	0.12	0.14	-0.02	0.04	- ※4	0.99	-	-	否	38	60	- ※4	-
	⑤ 旧左門殿川	控え式矢板	3.41	0.80	0.14	0.66	0.20	- ※4	2.61	-	-	否	39	61	- ※4	-
	⑥ 蓬川	控え式矢板	1.41	0.20	0.14	0.06	0.20	- ※4	1.21	-	-	否	40	62	- ※4	-
	⑦ 武庫川	土堤+パラペット	6.43	0.43	0.14	0.29	0.30	2.26	6.00	-	3.74	否	41	63	3.32	2.68
	⑧ 宮川	土堤+パラペット	3.82	0.21	0.10	0.11	0.03	2.36	3.61	-	1.25	否	42	64	2.58	1.03
	⑨ 高橋川	土堤+パラペット	3.58	0.16	0.08	0.08		2.13	3.42	-	1.29	否	43		2.47	0.95
	⑩ 天上川	自立式矢板+パラペット	3.38	0.39	0.08	0.31	0.07	2.09	2.99	-	0.90	否	44	65	2.20	0.79
	⑪ 別府川	土堤+パラペット	3.50	0.23	0.10	0.13	0.10	2.22	3.27	-	1.05	否	45	66	2.30	0.97
	⑫ 船場川	土堤+パラペット	3.45	0.33	0.09	0.24	0.01	1.89	3.12	2.57	0.68	否	46	67	2.35	0.22
	⑬ 夢前川	土堤	4.54	3.57	0.09	3.48		2.23	0.97	-	-1.26	要	47		2.55	-1.58
	⑭ 水尾川	土堤	3.89	0.62	0.08	0.54		2.04	3.27	-	1.23	否	48		2.23	1.04
	⑮ 汐入川	土堤+パラペット	3.20	0.24	0.09	2.93	0.15	2.20	2.96	-	0.76	否	49	68	2.24	0.72
	⑯ 大津茂川	土堤	3.52	3.28	0.09	3.19		1.46	0.24	-	-1.22	否 ※3	50		1.79	-1.55
	⑰ 市川	土堤	3.06	0.34	0.09	0.25		1.92	2.72	-	0.80	否	51		2.34	0.38
	⑱ 大津川(下流)	土堤+パラペット	3.43	1.07	0.08	0.99		1.71	2.36	-	0.65	否	52		2.61	-0.25
	⑲ 洲本川	土堤	3.43	1.04	0.31	0.73		1.91	2.39	-	0.48	否	53		2.45	-0.06
	⑳ 三原川	土堤+パラペット	3.04	1.04	0.42	0.62		1.49	2.00	0.92	-0.57	否 ※3	54		1.59	-0.67
	㉑ 倭文川	土堤	3.92	0.49	0.42	0.07		1.16	3.43	-	2.27	否	55		1.37	2.06
	㉒ 大日川	土堤	2.89	1.44	0.42	1.02		1.43	1.45	-	0.02	否	56		1.37	0.08

※1 河川堤防はALID解析沈下量を基本としているが、構造形式等により、より詳細な検討が必要と判断された箇所については、専門家の意見を聴きながらFLIP解析も実施している

※2 目地開きがある場合は、目地開き位置の高さを沈下後の堤防の高さとした

※3 L2津波浸水シミュレーションにおいて人家への浸水が無い等、影響が小さいため、対策は実施しない

※4 庄下川、旧左門殿川、蓬川については、尼崎閘門等により津波遡上が抑制されると想定している。

※5 汐入川については専門家の意見を踏まえFLIP解析の結果を用いた